

オラトリオ

# テオドーラ

崇高な信仰を貫いたテオドーラの悲劇



衣服を交換するテオドーラとティティムス

2018年1月14日(日)

全3部 ノーカット上演 ● 演奏会形式 ● 原語(英語)上演 ● 字幕付き ● 幕間オルガン演奏付き

開演 15:30 (開場 15:00) — 終演 20:00 予定 会場 浜離宮朝日ホール

入場料 (全席指定)

◆ 一般 S=7,500円 A=6,000円  
学生=3,000円 (当日のみ)  
◆ 支援会会員 S=5,200円 A=4,200円

チケット取扱 一般発売開始 9月20日(水)

▶ アレグロミュージック 03-5216-7131  
▶ 朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990  
▶ カンフェティチケットセンター 0120-240-540

※学生券はアレグロミュージックにて電話予約可。当日渡し。

本公演連動企画 (企画1)

講演会「《テオドーラ》の魅力」

2017年12月17日(日) 15:00~17:00

会場 ● 池上ルーテル教会 講師 ● 三澤寿喜

入場料(全席自由):

一般1,200円、学生1,000円 支援会会員1,400円

チケット取扱:

▶ HFJ事務局 ☎0297-82-7392 jimukyoku@handel-f-j.org  
▶ カンフェティチケットセンター ☎0120-240-540



阿部早希子  
テオドーラ(S)

山下牧子  
ティティムス(A)

牧野正人  
ヴァレンス(B)

辻裕久  
セプティミアス(T)

波多野睦美  
イレネ(MS)

川久保洋子  
コンサートマスター

懸田貴嗣  
首席チェロ奏者

勝山雅世  
オルガン独奏

三澤寿喜  
指揮

キャンパス・コンサート  
室内合唱団 &  
管弦楽団(古楽)

◆ 主催:ヘンデル・フェスティバル・ジャパン実行委員会 ◆ 協力:東京古典楽器センター(チェンバロ) 石井賢(ポジティブ・オルガン) Zimakuプラス 池上ルーテル教会 HFJ支援会 HANDELIAN ◆ 助成:公益財団法人朝日新聞文化財団 公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団 独立行政法人日本芸術文化振興基金 ◆ 後援:国際ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル協会(ドイツ、ハレ) ◆ マネージメント:アレグロミュージック 03-5216-7131

ヘンデル自身が  
「他のどの作品よりも優れている」  
と評した自信作

1749年(64歳)の作品。情感豊かな独唱と重唱、立体的で奥行きのある四声合唱、簡潔ながら表現力豊かな管弦楽、どれをとっても最高の完成度を誇る円熟期の傑作。ヘンデルは「《メサイア》のグランド・コーラス(=ハレルヤ・コーラス)より、本作第2部終曲合唱 He saw the lovely youth のほうがはるかに優れている」とも語っている。第2部、第2場、牢獄に囚われたテオドーラの嘆きのアリア With darkness deep as is my woe はヘンデル・アリアの最高傑作のひとつであり、第2部、第5場、衣服を交換したテオドーラとディティムスの別れの二重唱 To thee, thou glorious son of worth はヘンデル二重唱の最高傑作のひとつ。—— 三澤寿喜

あらすじ

テオドーラはアンタキアに住むキリスト教徒。彼女を愛するローマ人将校ディティムスも改宗し、キリスト教徒となっている。

◆ 第1部 —— 今日はローマ皇帝の誕生日。アンタキアのローマ人総督ヴァレンスは住民に対して、ローマの習慣に倣って誕生日を祝うよう命じる。テオドーラはそれを拒否し、捕えられる。

◆ 第2部 —— 熱狂する異教徒と、それとは対照的に、牢獄で絶望するテオドーラ。ディティムスは友人セプティミウスの助けを得て、テオドーラ救出を試みる。兜を被って牢獄に現れたディティムスはテオドーラと衣服を交換し、彼女を逃がす。

◆ 第3部 —— ディティムスの変装は露見する。それを知ったテオドーラはディティムスを救おうと、自らヴァレンスの元へ赴く。ディティムスとテオドーラは互いに自らの命と引き換えに相手の助命を乞うが容れられず、二人とも処刑される。

HANDEL FESTIVAL JAPAN Vol. 15 (HFJ Vol. 15)  
Oratorio THEODORA HWV 68

PROJECT I  
includes the lecture "Fascination of Oratorio THEODORA" at Ikegami Lutheran Church, Tokyo, starting at 15:00, Sunday, 17th December, 2017.  
There will be the Lecture given by Toshiki Misawa.  
Tickets will cost ¥2,000 for an adult and ¥1,000 for a student (undesignated seats).

PROJECT II  
includes the performance Oratorio THEODORA (HWV 68) at Hamarikyu Asahi Hall, Tokyo, starting at 15:30, Sunday, 14th January, 2018;  
Performed by Sakiko Abe (S), Makiko Yamashita (A), Masato Makino (B), Hirohisa Tsuji (T), Mutsumi Hatano (Ms), Yoko Kawakubo (Concertmaster), Takashi Kaketa (Principal Baroque Cello), Masayo Katsuyama (Organ solo), Cannons Concert Chamber Choir & Orchestra, and conducted by Toshiki Misawa.

Tickets are ¥7,500 for S, ¥6,000 for A, and ¥3,000 for a student.

HANDEL FESTIVAL JAPAN  
MOTTO: HANDEL - A MAN OF PASSION & A MAN OF THEATRE  
Organized by Committee of HANDEL FESTIVAL JAPAN (URL: <http://www.handel-fj.org/>)  
Endorsed by GEORG-FRIEDRICH-HANDEL-GESELLSCHAFT, Internationale Vereinigung, e.V.  
For further information, please contact HFJ Committee Office (Tel: +81-297-872-7392, email: [jimukyoku@handel-fj.org](mailto:jimukyoku@handel-fj.org))

HFJを支援する会 (HANDELIAN)  
年会費1口1万円から。お申し込み、お問い合わせ：  
HFJ支援会事務局 [jimukyoku@handel-fj.org](mailto:jimukyoku@handel-fj.org)

出演者プロフィール

阿部早希子  
Sakiko Abe

テオドーラ ◆ 高貴な生まれのキリスト教徒

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。イタリア政府給費奨学金など数々の奨学金を得て渡伊。ミラノ市立音楽院歌曲科並びに古楽バロック唱法科、ピアチェンツァ国立音楽院歌曲科修士課程をそれぞれ首席にて卒業。第75回日本音楽コンクール入選並びに岩谷賞、伊・V・ブッキ国際現代音楽コンクール第2位など日伊にて数々の賞を受賞。イタリアをはじめ、欧州各地にて多くの国際音楽祭やソロリサイタルに出演、及び国内での出演多数。

牧野正人 (バス)  
Masato Makino

ヴァレンス ◆ アンタキアのローマ人総督、暴君

所属する藤原歌劇団では《椿姫》、《アイダ》、《ボエーム》等に出演。新国立劇場にも《リゴレット》、《ナブッコ》、《セビリアの理髪師》等、度々主要な役で出演。わが国を代表するバリトン歌手。イタリア・バロック時代の演奏と研究は高い評価を受けており、多くの音楽セミナーに講師として参加し、バロック時代の歌唱法を基にした発声法や演奏表現を後進に伝えている。シローオペラ賞受賞。洗足学園音楽大学教授。ロシア二協会会員。

波多野睦美 (メゾ・ソプラノ)  
Mutsumi Hatano

イレーネ ◆ キリスト教徒の女

ロンドントリニティ音楽大学声楽専攻科修了。シェイクスピア時代のリュートソングでデビューの後、ルネサンスから現代までの幅広い分野で活躍。数多くのバロックオーケストラと共演し、バロックオペラにおいて独自の存在感を放つ。高橋悠治、間宮芳生、権代敦彦ほか多数の現代作曲家の信頼を得ている。テレビ放送、CD録音多数。最新作は高橋悠治のピアノによる、シューベルト「冬の旅」2017秋リリース予定。

懸田貴嗣 (首席チェロ奏者)  
Takashi Kaketa

東京藝術大学大学院修了後、ミラノ市立音楽院で学んだ。チェロをガエタノ・ナジッポ、鈴木秀美の各氏に師事。ラ・ヴェネシアーナ、パッハ・コレギウム・ジャパン、リクシアツィオン・ダルカディアなどのメンバーとして、欧州、国内各地の主要な音楽祭のコンサート、レコーディングに参加。伊ボンポルティ国際コンクールで第1位を受賞。CD「ランゼッティ/チェロ・ソナタ集」が2012年度文化庁芸術祭優秀賞を受賞。北海道教育大学若見沢音楽専攻特任准教授。

三澤寿喜 (指揮)  
Toshiki Misawa

HFJ実行委員長。国立音楽大学大学院修了。主要著書：『ヘンデル』(音友)。主要編著書：『ヘンデル・アリア選集』(共編著。全3巻。全音)、『ヘンデル二重唱曲集』(音友)。主要訳書：ホグウッド著『ヘンデル』(東京書籍)。指揮活動ではヘンデルの《メサイア》、《エイシスとガラテア》、《サムソン》、《アレクザンダーの饗宴》、《イェフタ》、《ベルシャザール》など。北海道教育大学名誉教授、国際G. F. ヘンデル協会(ドイツ、ハル)元理事。

山下牧子 (アルト)  
Makiko Yamashita

ディティムス ◆ キリスト教に改宗したローマ人将校。テオドーラの恋人

広島大学を卒業後、東京藝術大学大学院に学ぶ。2002年に日生劇場オペラ教室《カルメン》タイトルロール、2004年から、新国立劇場にて、《蝶々夫人》スズキ、《アンドレア・シェニエ》ベルシ、《軍人たち》シャルロットなど数多く出演。2005年からは二期会で、《ジュリアス・シーザー》タイトルロール、《コジ・ファン・トゥッテ》ドラベッラ、《サロメ》ヘロディアス等を務める。コンサートで国内主要オーケストラとも多数共演。

辻裕久 (テノール)  
Hirohisa Tsuji

セプティミウス ◆ ローマ人将校。ディティムスの友人

東京藝術大学音楽学部卒、同大学院修了。英国王立音楽院大学院修了。1994年故ダイアナ妃後援《メサイア》ソリストとしてロンドン・ロイヤル・フェスティバルホールにデビュー。以来、バロックから現代まで、オペラ、宗教作品、歌曲、アンサンブル等の幅広いジャンルにおいて国内外で活躍。第32回フランシス・ウィニヤス国際声楽コンクール銅メダル、並びに最優秀オラトリオ・リート歌手賞受賞。現在、玉川大学芸術学部教授、フェリス学院大学音楽学部非常勤講師。

川久保洋子 (コンサートマスター)  
Yoko Kawakubo

桐朋学園大学音楽学部卒業、東京藝術大学大学院古楽科修了、フランス国立リヨン高等音楽学院古楽科、室内楽科修士課程修了。2009年ブルージュ国際古楽コンクール室内楽部門優勝(Ensemble Les Timbres)、2014年初録音CDがフランスのDiapason誌で金賞(Diapason d'or)を受賞。フランスを中心にヨーロッパ各地、日本でオーケストラ、室内楽奏者として活躍中。

勝山雅世 (通奏低音&開閉オルガン独奏)  
Masayo Katsuyama

東京藝術大学オルガン科卒業。アカンサス音楽賞受賞。同大学院古楽科修了。パーゼル・スコラ・カントゥムに留学。2003年オランダ・シュニトガー国際オルガンコンクール第3位入賞。08年からサントリーホール主催「そいけいけ!オルガン探検隊」演奏、企画にも関わっている。10、12、15、16年NHK交響楽団の定期演奏会でサン・サーンス「交響曲第3番」、ベルリオーズ《テ・デウム》、パッハ「カンタータ第29番 シンフォニア」等演奏。

キャンズ・コンサート室内合唱团&管弦楽団 (古楽)  
CANNONS CONCERT CHAMBER CHOIR & ORCHESTRA

HFJ専属。ヘンデル演奏の専門家集団。「今や欧州の基準に照らしてもかなりの高水準」と評されている(第13回《イェフタ》公演、「音楽の友」那須田務氏評)。名称由来：ヘンデルが1718年頃に滞在したロンドン郊外キャンズ Cannons に建てられたシャンドス公爵邸の専属合奏団 Cannons Concert に因む。

アクセス

▼ 浜離宮朝日ホール 朝日新聞東京本社・新館2階  
TEL. 03-5541-8710



【築地市場駅】都営大江戸線(A2出口)すぐ

【築地駅】東京メトロ日比谷線(1,2番出口)、【東銀座駅】東京メトロ日比谷線|都営浅草線(6番出口)より徒歩8分

【汐留駅】都営大江戸線(新橋駅方面改札口)|新交通ゆりかもめ(改札口)より徒歩約10分

【タクシー】「朝日新聞社 正面玄関へ向かってください」とドライバーにお伝えください。

※会場に駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

▼ 池上ルーテル教会  
TEL. 03-4285-6094



・東急池上線「池上駅」より徒歩5分